

広 報

の扉

●No.436

●昭和62年2月1日発行



昨年暮れに新しい実習棟が完成した登別地方高等職業訓練校では、板金科、編み物料など7科63人が、ゆったりとした新実習室で訓練を行っています。

61年に電算科と編み物料が新設されたこともあり、実習室が手狭になったことから事業費約6千4百万円をかけて、鉄骨平屋建て382平方メートルの実習室増築と古い実習室の改装が行われました。

電算科は、1月19日今年1回目の実習を行い、日本工学院の秦先生指導のもと改装間もない実習室で勉強にはげんでいました。

2.1

で根強い存続運動を

新日鉄室蘭製鉄所の高炉休止合理化案

皆さん、既に新聞、テレビ等でご承知のとおり、新日鉄室蘭製鉄所の高炉休止問題は、室蘭市のみならず登別市にとっても大規模な人口減少など、有史以来の危機に立たされることは確実で、高炉存続を求めた今後の市民総ぐるみ運動が不可欠となっています。

全市民が重大な危機感をもって高炉存続に対する各種の取り組みに全面的な協力をし、高炉存続を実現しましょう。

室蘭製鉄所は製造工場に縮小

新日本製鉄株式会社は、現在高炉十四基体制で操業しており、実際に稼働しているのは十二基です。

約八十一年続いた製鉄一貫体制は崩壊し、他の製鉄所から供給される鋼塊で特殊鋼を中心にして生産する製造工場になってしまおうことになりま。

今回問題になっているのは、十二基の高炉のうち、室蘭、釜石、堺、広畑、八幡の各製鉄所の合計五基を、昭和六十二年から三年をかけて順次休止するという合理化案が出されたことです。

新日本製鉄株式会社がこのような大胆な合理化案を打ち出した理由は、昭和六十年秋

この合理化案のとおり室蘭製鉄所の高炉が休止した場合、

このため、現在四千三百人の従業員は半減されることが考えられ、下請けを含む関連会社にも甚大な影響が出るものと予想されます。

高炉休止による登別への影響

昭和十七年、十八年、現在の富士町に新日鉄住宅千四百五十戸が建設され、登別温泉を擁するのみの一寒村だった登別市は、これを契機に室蘭市のベッドタウンとして急激に発展してきました。今や、名実ともに北海道の中堅都市として、その地位を不動のもの

のとしています。

登別市民約五万八千人の中には、新日鉄室蘭に勤務している方が約千百人。関連下請企業に勤務している方を含めると約二千人の関係者がいらつしやいます。

新日鉄室蘭製鉄所の高炉が休止され大規模な合理化が行なわれた場合、室蘭市と共に歩んできた登別市にどのような影響が出るのでしょうか。

第一に考えられるのは新日鉄室蘭に勤務する市民の流出による人口減の問題です。

高炉の休止によって、一部工場のみは操業となった場合、従業員の約七〇％、八〇％

削減されると考えられ、登別市では約千六百人の削減となります。これに家族を加えると、総人口の約八、六％に相当する約五千人の減少が予測され、登別市始って以来の急激な人口減少となり、その波及する影響は甚大なものになります。

また、商業の面から見ますと、昭和六十年の市内の小売商業販売額は、三百四十八億千六百万円で、人口一人当りの販売額は五十九万五千円です。合理化された場合、人口約五千人減少したとして、小売販売額で約三十億円の減少となり、全市の小売販売額は約八、五％落ち込むことになりま



市民総ぐるみ



高炉休止の合理化案が出された新日鉄室蘭製鉄所

す。
さらに具体的な数字として表すことのできない、すそ野

部分まで含めた影響は計り知れないものがあり、登別市有史以来の危機といっても過言

でない事態が予想されるのです。

市民の力で高炉の火を守ろう

新年早々、地域に大きな衝撃を与えた、新日本製鉄株式会社の高炉休止合理化案に対し、行政、そして市民が手をこまねいていた訳ではありません。

新日鉄室蘭製鉄所の高炉存続を訴える地域住民の運動は、短期間に大きな盛り上がりを見せました。

いち早く、西胆振八市町村の協力で「高炉存続対策市町村協議会」を発足し、官民一体、地域住民総ぐるみで高炉

存続運動の具体策を検討しました。

一月八日から始めた存続要請の署名運動では、六日間の短期間に、登別市分三万三千人を含め、二十万四千人も

署名が集まりました。また一月十三日に室蘭市で開かれた市民総決起集会には、登別市からも大勢の市民が参加し、「西胆振住民総意で高炉存続」の熱い願いを決議しました。

しかし情勢は非常に厳しいものがあり、今後も全市民が

一体となった存続運動を展開していかなければなりません。

新日本製鉄株式会社に対し、地域の訴えに耳を傾けてもらい、高炉休止案を再考してもらおうと、市民一人ひとりが事の重大性を認識して、根強く存続運動を進めていかなければならないのです。

新日鉄室蘭製鉄所の高炉存続が決定される日まで、皆さんの絶大なご協力をお願いいたします。



中央町でも市民が次々と署名



登別市大飛躍の礎となった新日鉄社宅街



- 登別マ牧場のユキコがヒグマの国内最多出産記録を35頭に伸ばす。
- 中国から帰国の松本福雄さんが2級技能士補に合格（登別職業訓練校板金科）
- 視力障害者の福祉向上を目的に登別市点訳赤十字奉仕団が結成。
- 道曹達幌別工場でカニの甲皮から高分子素材を生産。
- ハッピー牧場でめずらしい羊の6つ子誕生。
- 登別断酒会が誕生（全道で75番目）
- 登別温泉で胆振・日高地区では初めての暴力団追放宣言（登別観光協会総会より）
- 登別高等職業訓練校で新たに電子計算機科と編み物料を開設。
- 若い力でまちおこし——登別地区の「大地蔵さま祭り」
- シブンスイミングスクール登別が若草町に完成。
- コンビニエンスストア市内に急増。ここ2年間ですでに8店。
- 登別と白石の老人クラブ連合会が姉妹クラブの縁組み。
- 登別温泉の宿泊客が温泉ブームに乗って5年ぶりの60万人突破（上半期）
- 特産品づくりに弾み——機動訓練つむぎ科ファッションショー。
- ハッピー牧場で羊の季節外繁殖に成果（受胎率50パーセント以上）
- 国際観光都市にふさわしく——登別温泉街各所に英文看板を設置。

- 2月 ●サロンフットボール道フェスティバルで登別五十雀がV2達成。
 - 道内では敵なし——登別南高の安藤喜代子さん、第1回全国高校女子柔道選手権大会で優勝、全国大会へ。
 - 涙の初V——登別大谷高女子バレー部、選抜高校バレー南北海道大会で優勝、全国大会へ。
 - 登別獅子舞の復興に登別小が乗り出す。
 - 市内のクラシックファンによる登別コンサート協会が誕生。
- 3月 ●道立近代美術館移動展（市民会館）
 - 目の不自由な松本松雄さん（72歳）老人大学を卒業。
 - 登別南高の相原圭介君、第4回全国高校アーチェリー選抜大会道予選で優勝、全国大会へ。
- 5月 ●辻久子バイオリンリサイタル（登別コンサート協会主催、市民会館）
 - 市内初のタウン誌「きっく・おふ」創刊（スタジオ・キック・オフ）
 - 高橋アキピアノリサイタル（スタジオ・キック・オフ主催、市民会館）
- 6月 ●ピリー・ヴォーン楽団コンサート（市教育委員会主催、市民会館）
 - 統一劇場「ピアニストとカラス」公演（登別ピアニストとカラスをみる会主催、市民会館）
 - 登別南高の堀内勝君、第19回全国高校アーチェリー選手権道予選で優勝、全国大会へ（これで同校アーチェリー部は全国大会出場3人目）
 - また、堀内君はかいじ国体の少年男子アーチェリー団体戦で金メダルを獲得。
- 7月 ●人形劇団「デフ・パペット・シアターひとみ」公演（登別手話の会主催、市民会館）
 - 初の市民フェスティバル、多彩な催しで連日大盛況（市民会館）

- 中登別地区に「地神太鼓、誕生、子供たちが市民フェスティバルで初披露。
- 幌別西小学校の学級通信「大地」が全国表彰。
- 45歳スイマー野舘さんが国際マスターズ世界選手権出場。
- 9月 ●登別南高の三上・西田ペア、全道ジュニアバドミントン選手権の女子ダブルスで優勝、全国大会へ。
- 10月 ●日本工学院野球部、第1回全道軟式野球大会でみごとV1（道専門学校野球連盟主催）
- 11月 ●登別温泉小、ユニークな体力づくりで文部省から全国表彰。

昨年当市で起った死亡交通事故

- 9月1日 ●カルルス町の道道で会社員が西日に幻惑され前方不注意のまま車を進行、道路作業員をはねる。
- 9月4日 ●緑町4丁目の道道で18歳の青年が速度出しすぎのため、カーブを曲りきれず、歩道にのりあげ小学生児童をはねる。
- 9月27日 ●千歳町6丁目の市道で主婦が駐車車輛を避けるため、中央線をこえ、対向してきたバイクと衝突する。バイクに乗っていた学生が死亡する。
- 11月10日 ●栄町4丁目の国道で学生が路面が雨のため暗かったことから、道路を横断する会社員を発見できず、はねる。この会社員は後続の大型車に再びひかれる。
- 12月6日 ●幌別町6丁目の国道で、トラックが左折する際、左後方の確認をせず高校生を巻き込む。

文化・スポーツ

札幌・道新リクエストコンサート（市民会館）



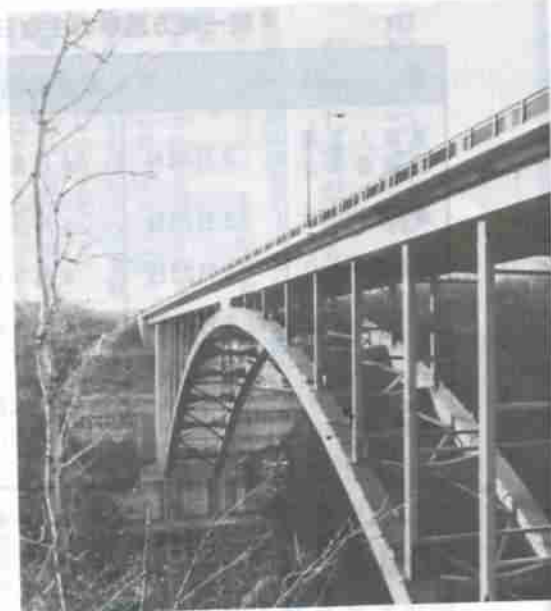
登別市この1年
'86を振り返る

21世紀に向って 着実にあゆむ登別

郷土を思う数多くの心に支えられ歩みつづける登別。今回は、昨年一年間の主なきごとをつづり、発展する登別をそのままに記録しました。

行政

- 1月 ● 市内39番目の老人憩の家「翠の家」が登別東町4丁目に完成。
- 2月 ● 当市で初めて公共下水道事業を前倒し発注。景気対策に配慮し、61年度分の事業費を60年度へ。
- 3月 ● 日本語をマスター、中国帰国者10人が日本語教室を卒業。
● 市内70歳以上の老人、高血圧性疾患がトップ（当市初の高齢者疾病統計）
- 4月 ● 登別温泉街から大湯沼までの散策道、大湯沼探勝歩道が完成。
● 登別温泉極楽通りのカラプロッキング舗装が完成。
● サケの「登別っ子」、稚魚 185万匹が初放流。
● 市内のゴミステーションをグリーンネットで試行。
● 大モテの高齢者事業団、60年度総受注額は前年度比35パーセントもアップ。
- 5月 ● 国道沿いに防犯交通安全街頭監視所が完成。600人で交通安全人波運動を展開。
- 6月 ● 鉄南ふれあいセンターに点字図書室オープン。
● 第2回登別市議会定例会で市議会議員2人減を可決。
- 7月 ● 市ヘルスバイオニアタウン事業が多彩に展開（健康カレンダー、市民健康相談、短期人間ドック助成など）
● 通年通行の実現に向けてオロフレトンネルが待望の貫通（道道洞爺湖登別線）
● 働く人たちのための健康ゾーン「カルルス・サン・スポーツランド」が完成。



- 64年の国体開催が正式決定。当市はバドミントン競技の開催地。
- 8月 ● 「国際観光レクリエーション都市」を鮮明に——市内3カ所に宣言塔を設置。
- 9月 ● 子供が読める市史ジュニア版発刊。
● 北海道公衆衛生大会が当市で開催。
- 10月 ● 札内地区の道営農道整備が順調に進み、サト岡志別大橋が完成。
● 札内牧野と登別温泉をつなぐ新登別大橋が完成、新しい観光名所となる。
● 存続を願って国立登別病院存続期成会が設立（会長が厚生省に対し署名簿を提出）
● 高速時代を告げる道縦貫自動車道「登別室蘭インター」が開通。
- 11月 ● ゆったりとしたスペースの幌別東小体育館が完成。
● 市民要望の1位は「道路、排水問題」（61年度市政懇談会から）
● 大規模水族館計画が市議会地域開発特別委員会で報告される。
- 12月 ● 市内40番目の老人憩の家「鷺六園」が鷺別町6丁目に完成。

一般

- 1月 ● 国が国立病院の再編計画を打ち出し、当市の国立登別病院は経営移譲の対象となる。
● 登別の子供「体」は大きい「視力」は全国平均以下（登別市教育研究会より）
● 日本工学院が就職戦線で健闘——道外進出がふえ内定率97パーセント。
● ハレーすい星の大接近——当市でも連日の観測会。
● 登別温泉のホテルでも電算化を進め客室稼働率のアップへ。

●統一地方選挙の主な日程

大切にしましょうあなたの一票

事項	知事	道議会議員	市長	市議会議員
選挙人名簿日	3月22日	4月2日	4月18日	
選挙期日の告示	3月23日	4月3日	4月19日	
立候補届出日	3月23日	4月3日	4月19日	
不在者投票	自3月23日 至4月11日	自4月3日 至4月11日	自4月19日 至4月25日	
投票日	4月12日	4月12日	4月26日	
開票日(即日)	4月12日	4月12日	4月26日	

第11回 統一地方選挙

投票日 知事・道議 4月12日
市長・市議 4月26日

選挙立候補届出

統一地方選挙は、昭和二十二年を第一回として、その後四年ごとに行われ、今回は第十一回統一地方選挙になります。

投票日などは次の日程(別表)で行われます。

説明会を開催します

昭和六十二年は、北海道知事・道議会議員選挙が四月十二日に、登別市長・市議会議員選挙が四月二十六日にそれぞれ行われます。

これに先立ち各級選挙に立候補を予定しているかたがたを対象に、次のとおり「立候補説明会」を開催しますので、各関係者の出席をお願いいたします。

▽日時 2月24日(火)午後1時30分から

▽場所 市役所第二庁舎

▽当日は、立候補届出に必要書類の交付も行いますので、必ず出席してください。

詳しいことのお問い合わせは、選挙管理委員会事務局(☎⑤2111内線374)へ。

不況知らずの日本工学院

九三割が内定済み



日本工学院北海道専門学校(中山浩資校長)の今春卒業予定者の就職状況は順調に進み、全学科を合わせた内定率は九三割。内定率は九三割。きびしい不況をよそに卒業生はほぼ就職を内定しました。

同校を卒業予定の四期生四百三十六人のうち、就職内定者は四百六人(一月二

十日現在)で過去最高だった昨年度の九〇割を同期比で三割上回っています。

学科別ではメカトロニクス科の一〇〇割を最高に、情報処理、情報工学、電子、電気、建築が軒並み九〇割を超えており、残る情報ビジネスと土木が少し遅れているものの、一月中にはほぼ見込みがつくとのこと。

きびしい円高不況の時代に就職を向えた四期生ですが、求人は五千九百四十三社、一万五千九百九十二人と、前年を上回る状況に恵まれ、同校の強みである「即戦力の提供」が企業にうけているようです。

児童手当

手続きを忘れずに

昭和六十一年六月一日から「児童手当法」が改正され、十八歳未満の児童を二人以上、養育している保護者(そのうち一人以上が小学校入学前の児童)に児童手当が支給されます。

なお、この制度は昭和六十三年三月三十一日まで児童の年齢制限があり、支給対象が変わります。

昭和六十二年(昭和六十二年四月一日から六十二年三月三十一日まで)は、次の方が支給者となります。

●第二子分：昭和六十二年四月一日現在で満四歳未満の児童(昭和五十八年四月二日以後に生まれた児童)を含む二人以上の児童を養育している保護者

●第三子以降分：昭和六十二年四月一日現在で満九歳未満の児童(昭和五十二年四月二日以後に生まれた児童)を含む三人以上の児童を養育している保護者

▽提出書類

- 児童手当認定請求書
- 支給資格者が厚生年金に加入している場合は、事業主の厚生年金加入証明書
- 支給資格者が、昭和六十一年一月二日以降に他の市町村から転入してきた場合は前住地の所得証明書

▽認定請求手続

児童手当の支給を受けられるのは、認定請求をした月の翌月分からとなり、認定請求が遅れると、その分の手当が受けられなくなります。

昭和六十二年で児童手当の支給資格がある方は、昭和六十二年三月三十一日まで社会課に申請手続きをしてください。

なお、前々年の所得が一定の額以上ある方は児童手当は受けられません。

※児童手当認定請求書用紙は、各支所に用意しています。また、公務員の方は、勤め先で手続きをしてください。

▽問合せ先 社会課(☎⑤2111内線297)

水道の凍結にご注意ください

～おやすみ前に 水抜きを～

身体障害者の
有料道路通行料
が割引になります

有料道路通行料の割引該当者の範囲が拡大され、今までの下肢・体幹障害者の方のほかに、上肢障害者の方も割引対象になります。

ご利用される方は次のとおり手続きをしてください。

▽用意するもの 身体障害者手帳、免許書、印鑑

▽申込み・問合せ先 市福祉事務所(☎⑤2111内線298)

※なお、本人が運転するときだけに限られます。

文芸のぼりべつの

発刊のお知らせ

登別市文化協会では、「市民文芸のぼりべつ十五号」を文芸編と機関誌編に分冊し、次のとおり発刊します。

▽発刊予定 3月下旬

▽販売価格 七百円(二冊セット)

▽問合せ先 市民会館(☎⑤1100内線36)

市民のつどいに

参加しませんか

市民憲章推進協議会では、「まちづくり市民のつどい」を次のとおり開催します。

市民憲章推進協議会では、「まちづくり市民のつどい」を次のとおり開催します。

募集します

白樺りんどう

歩くスキーの集い

歩くスキーの集い実行委員会では、第六回登別白樺りんどうコース歩くスキーの集いを次のとおり開催します。

▽日時 2月22日(日) 午前9時から受付、午前9時30分から開会式

▽集合場所 登別美化センター前(登別温泉町)

▽コース 地獄谷・大湯沼・日和山・白樺林・展望広場の折り返し約12キロメートル(所要時間約2時間30分)

▽参加料 小学生五百円、中学生以上千円(傷害保険料を含む)

▽携行品 歩くスキーまたはレジャー用スキー、着替、防寒具、予備手袋、ワックス、ゴーグル(サングラス)、軽食など

▽申込み受付期限 2月14日まで(ただし、当日は会場で再度受

▽テーマ 第一：住みよい生活環境づくりについて、第二：心のよい合うまちづくりについて、第三：自然を生かしたきれいなまちづくりについて

国際交流を広める

市民シンポジウム

のぼりべつ国際交流会では、国際交流の在り方を理解し、国際感覚を身につけていただくため、次

▽申込み・問合せ先 登別観光協会内実行委員会事務局(TEL 3311)

※なお、小学生4年生以下は引率責任者が必要です。



市営陸上競技場で

歩くスキー講習会

市教育委員会では、次のとおり歩くスキー講習会を開催します。

▽日時 2月15日(日) 午前9時30分～午後12時30分

▽対象 市内に居住する小学生以上の方(ただし、4年生以下は保護者同伴とします)

おり「国際交流を広める市民シンポジウム」を開催します。なお、当日は日本航空札幌支店次長である西川武彦氏を迎え「国際人とは何か」の講演や市内に住む海外生活経験者の体験談、活動状況の報告などが行われます。皆さんの多数のご来場をお待ちしています。

▽日時 2月22日(日) 午後1時～4時

▽場所 市民会館

▽申込み・問合せ先 社会教育課(TEL 100内線719)

▽受講料 無料

▽申込み方法 2月10日(火)までに総合体育館へ電話で申し込みください。(TEL 5552)

道民スポーツ胆振大会

“白老のつどい”を開催

道民スポーツ胆振大会実行委員会では、北海道の厳しい冬を快適にすごしていただくため、次のとおり歩くスキー白老のつどいを開催します。多数ご参加ください。

▽日時 3月1日(日) 午前10時～午後5時

▽集合場所 白老森野生活館前

▽コース(マルチコース) 初心者：五キロメートル、中・上級者：十キロメートル

▽対象 どなたでも参加できますが、小学生以下は引率責任者が必要で

▽申込み方法 2月8日(日)までに、総合体育館に電話で申し

込みください。▽問合せ先 総合体育館(TEL 5552) ※用具は各自で用意してください。また、参加者全員に参加賞をさしあげます。

ミニバレーボール大会

市教育委員会では、だれもが気軽に楽しめるビーチボールを使ったミニバレーボール大会を開催します。多数ご参加ください。

▽日時 2月8日(日) 午前9時15分から開会式

▽場所 総合体育館

▽対象 市内に居住、または通勤する一般成人の方で編成したチーム(学生は除く)

▽種目 男子の部、女子の部(男女混成チームは男子の部を含む)

▽チーム編成 一チーム六名(補欠二名を含む)

▽申込み方法 2月5日(木)までに、総合体育館に用意してある所定の用紙で申し込みください。

▽問合せ先 総合体育館(TEL 5552)

▽就業援助相談室では、次のとおり

▽申込み・問合せ先 社会教育課

▽申込み受付開始 2月5日から

▽申込み・問合せ先 社会教育課

り受講生を募集しています。▽日時 2月25日(水) 午前10時～午後3時

▽場所 室蘭勤労婦人センター

▽受講料 無料

▽定員 二十名

▽申込み方法 月曜日から木曜日の午前9時30分～午後3時30分までの間に電話で申し込みください。(申込期限は2月19日)

▽申込み・問合せ先 就業援助相談室(TEL 0143-241443)

▽就業援助相談室では、次のとおり

▽申込み・問合せ先 社会教育課

▽申込み受付開始 2月5日から

▽申込み・問合せ先 社会教育課

▽申込み・問合せ先 社会教育課

▽申込み・問合せ先 社会教育課

▽申込み・問合せ先 社会教育課

▽申込み・問合せ先 社会教育課

(TEL 1100内線719) 手づくりの楽しさを

アート盆栽教室

市教育委員会では、次のとおりアート盆栽教室を開催します。

▽日時 2月20、27日、3月6、13、20日/午前10時～正午

▽場所 登別公民館

▽定員 十五名(一般市民)

▽講師 半田キヨさん

▽教材費 三千円(初日に徴収)

▽用意するもの はさみ、めうち、ボンド(木工用)、針(2本)、糸(黒色)、カッター、タオル、筆記用具

▽申込み受付開始 2月6日から

▽申込み・問合せ先 登別支所に直接電話で申し込みください。(TEL 1131)

※アート盆栽とは、布や針金などを使って作る盆栽のことです。

ひな祭りに向けて

手づくり料理と

お菓子づくり教室

市教育委員会では、ひな祭りに

向けて、手づくり料理とお菓子づく

り教室を次のとおり開催します。

▽日時 2月23、25、27日/午前10時～正午

▽場所 市民会館

▽定員 三十六名

▽受講料 無料

▽教材費 千五百円(三分)

▽内容 うぐいすもち、一口にぎり寿司、洋風サラダライスなど

▽用意するもの 筆記用具、エプロン

▽申込み受付開始 2月5日から

▽申込み・問合せ先 社会教育課

(TEL 1100内線719)

市民啓蒙

シンボルマーク

62年全国高校総体をみんなの力で成功させよう



スローガン

はばたけ 若人 北の大地に

バドミントン競技会場 登別市
大会期間 昭和62年8月1日～6日

〈 申告相談受付日程表 〉

Table with columns: 月日 (Date), 時間 (Time), 場所 (Location), 相談する税 (Tax type). It lists various dates and times for tax consultation at different locations like city hall and community centers.

税の申告時期です

申告相談のご利用を

市では、市道民税、所得税の申告相談を次の日程で行いますのでお気軽にご利用ください。
申告が必要なのは、六十二年一月一日現在、登別市内に住んでいる方で、昭和六十一年一月一日から十二月三十一日まで収入があった方がたです。

ふれあう心の合言葉
一、未来をつくる青少年の、健全な夢の育つまちをつくりましょう。

老人医療費の一部負担金が改正

老人保健法の改正により、六十二年一月一日から、お年寄りが医療機関の窓口で支払う老人医療費の一部負担金が次のように変わりました。
・通院(一カ月)：八百円
・入院(一日)：四百円

3カ月検診

内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導
程・会場・対象地区

母親学級

2月26日：鷺別公民館(鷺別地区)
2月27日：労働福祉センター(幌別地区)
▽受付時間 正午～午後12時15分
▽対象児 61年11月出生児
▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

不用品ダイヤル市

5局 2111 内線 257

おわけします(売り)
ベビーバス、ベビーベッド、つおき器、スピードスケート(26cm)、ホイギェードスケート(33cm)、キーボード、電気オルガン、ストップガード、スチームアイロン、ホームタンク(90ℓ)、真空パック器、地球儀、少年少女世界名作全集、学習用椅子(女子用)
ゆずってください(買い)
ダブルベット、洗濯機、子供用自転車(14インチ)、婦人用自転車、ハーフスケート(22.5、23.5cm)、スピードスケート(24cm)、バイク(50cc)、ペーパーカーシート、石炭風呂釜、健康ぶらさがり器

〈 母親学級日程 〉

Table with columns: 月日 (Date), 担当 (Instructor), 内容 (Content). It details the schedule for the Mother's Class, including topics like pregnancy and childbirth.

第五回 技能まつり

日時 2月22日(日)
登別技能協会と登別訓練協会では、技能祭を次のとおり開催します。皆さんの多数のご来場をお待ちしています。
▽日時 2月22日(日) 午前10時～午後2時
▽場所 登別市職業訓練センター
▽展示品・即売品 衣桁、ワゴン、緑台、棚板、ストレープ台、本箱、マナ板、小物入れなど
▽問合せ先 登別技能協会(TEL 51450)

●市民会館の2月・催しもの

Table with columns: 日 (Date), 催物名 (Event Name), 要名 (Venue), 時間 (Time), 料金 (Fee), 問い合わせ先 (Contact Info). It lists various events at the Citizen Center for February.